

平成29年度日本農林漁業振興会会長賞受賞者受賞理由概要
女性の活躍

女性パワーで切り拓いた直売所が地域の活性化に貢献

○氏名又は名称 富士見農産物加工組合（代表 近藤 昌子）

○所在地 群馬県前橋市

○出品財 女性の活躍

○受賞理由

・地域の概要

前橋市富士見町は、前橋市の北部、赤城山の南西山麓に位置する東西6km、南北19kmの細長くなだらかに傾斜する地帯で、総面積は約70k㎡である。町北部は山林が占め、農業は、町南部の畑地帯を中心に畜産や施設、露地の野菜等の園芸作物経営が盛んに営まれている。

・受賞者の取組の経過と経営の現況

平成3年、女性有志が出資金を持ち寄り、富士見農産物加工組合を33名で設立した。地域特産物の開発に取り組み、味噌、「おなめ」（金山寺味噌）、まんじゅう等を商品化した。その後、地元の野菜販売も行うため、平成5年に加工所を併設した直売所を開設した。発足から現在まで女性のみで運営を行っている。

・受賞者の特色

(1) 地産地消へのこだわり、地域ブランド力の向上

消費者のニーズに応えるため、設立当初から「地元産100%」という厳しいルールを定め、地産の徹底を図っている。地域資源を活用した商品は50種類を超え、「赤鳥居みそ（きび入り）」は「前橋市赤城の恵ブランド認証」を受けるほか、群馬県の地産地消推進店として県・市のPR活動も担っている。

(2) 世代交代を促す体制づくりと地域女性の経済的自立支援

県内初の定年制度、出資金と積立金による退職金制度を導入している。また、地域の農村女性は、自由に使えるお金を持っていないことが多かったため、直売所への出荷を契機に自らの口座を持つことを勧めることで、地域の女性農業者の経済的な自立にも貢献してきた。

(3) 地域内外の消費者との交流活動

加工体験教室の定期開催、学校給食への味噌の提供、各種イベントへの出店等地域内外の消費者との交流を積極的に行ってきた。また、地域貢献活動として行っている介護施設と連携した高齢者向けの移動販売は、買い物弱者対策だけでなく一人暮らしの高齢者の見守り活動となっている。

・普及性と今後の発展方向

地域資源を活用して成功した先駆的なモデル事例であり、地域の農業振興や女性の地位向上に大きく寄与している。また、若い女性農業者グループへの指導等も積極的に努め、経験を次世代に伝える取組を行っている。今後は、直売所だけでなくマルシェや都市農村交流活動の場等での販売活動を拡大する方針であり、更なる地域活性化への貢献が期待できる。